

令和7年度帯広市教育研究所
第2回運営委員会

1 日 時

令和8年2月20日（金） 14：30～15：30

2 場 所

帯広市教育研究所

3 参加者

村 上 達 也 委員長	笹 島 香 織 副委員長
浅 沼 千 恵 委 員	小 林 香 織 委 員
佐 藤 真 也 委 員	宍 戸 文 絵 委 員
松 山 さとみ 委 員	渋谷 康 治 所 長
永 井 悠 介 指導主事	佐々木 卓 郎 指導主事
池 下 栄里子 調査研究専門指導員	橋 本 民 枝 事務員

4 議 事

- (1) 令和7年度事業報告
- (2) 令和8年度事業計画(案)
- (3) その他

《運営委員からのご意見》

- ・教育研究所からの説明を受け、改めて活動内容が理解できた。
- ・夏季・冬季研修講座の ONE-UP 研修は、教育関係者以外の講師の話が聞け、先生方にとっても他の世界を知るよい機会であり、先生方の幅も広がる。また、この研修は先生方の関心が高い。
- ・夏季・冬季研修講座を、運営委員にも引き続き案内してほしい。
- ・委託委員会は、熱心で豊富なアイデアをもっている先生が集まっている。
- ・学校で、教育研究所が発行している「GIGA サポ通信」を活用した研修を行った。このように、発行物のお陰で ICT に関する先生方の指導力差が狭まってきていると感じる。
- ・先生方は、教育研究所が発行している通信をととても熱心に読んでいます。最新の情報を発信していただいている委託委員会の先生方や研究所に感謝する。
- ・オンライン工場見学は、学校にいながらにして工場の様子を理解することができる素晴らしい取組だと思ふ。
- ・何年か前は、小学校に外国語が導入され、先生方も小学生に英語を教えるのは大変だと思っていた。今は、プログラミング教育。子ども達の学ぶ内容が変わってきているが、子ども達の疑問にも先生方はしっかりと対応している。新たな教育内容が出るごとに先生方は大変勉強していると思ふ。親には教えられないことが多くなっている中、先生方を頼りにしている。
- ・字や文章を書くことが苦手な子どもが多くなっていると思ふ。タブレットに打ち込んで進める学習も大事だが、自分で字や文章を書くことも大事だと思ふ。
- ・書くことの基本は小学生のうちから積み上げていく必要があると感じている。人との対応力（コミュニケーション力）と知識をバランスよく育てていくことが大事だと思ふ。
- ・学生を見ていると、地元のことを好きな学生が多い。これは、小学生から地元について学ぶ「おびひろ市民学」の成果が表れてきているのだと思ふ。これからも、地元に関する内容を幅広いバリエーションをもって教えていけば、地元のことを好きな子どもがますます増えると思ふ。